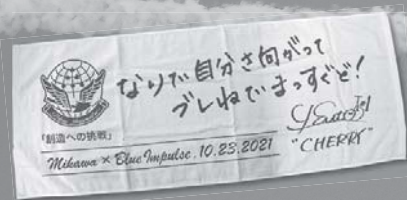




みんなが空を見上げた日



町内では遠渡隊長応援イベントを開催

今回、町ではブルーインパルスの飛行を記念するタオルを製作し、町内の小・中学生に配布しました。そして、展示飛行当日には町内の小・中学校でこのタオルを掲げて遠渡隊長を応援するイベントを企画し、総勢約600人の児童・生徒や保護者が各学校に集結しました。

遠渡隊長の母校・押切小学校や三川中学校でも、ブルーインパルスが上空を通過するたびに、児童・生徒がタオルを掲げてエールを送る姿が見られました。



Blue Impulse 第11飛行隊メモ

●飛行支援のため隊員6人が来町

今回は地上指揮官となった平川通3等空佐(写真前列中央)は1番機、ラジオ番組で実況ナレーションを担当した手島孝1等空尉(写真前列左)は4番機のパイロットでもある。また、飛行管理員の鈴木智也3等空曹(写真後列右)は山形県朝日町出身。

●2人のパイロットがラストフライト

この日2番機を操縦した住田竜太1等空尉、5番機を操縦した河野守利3等空佐は、任期中に行う展示飛行としては今回が最後のフライトとなった。

地上から飛行をバックアップ!



来町された航空自衛隊第4航空団第11飛行隊の皆さん

飛行をご覧いただき
ありがとうございました!

ブルーインパルス展示飛行 in 庄内



10月23日(土)、航空自衛隊のアクロバット飛行部隊「ブルーインパルス」が庄内地域で展示飛行を行いました。前日に行った練習飛行と併せ、同部隊の隊長を務める遠渡祐樹2等空佐(本町出身)が1番機を操縦し、同部隊を率いました。
展示飛行では、遊佐町・酒田市・庄内町・鶴岡市上空を飛行した後、本町上空で4つの演目を披露するなど、約30分間にわたり庄内地域の上空を飛行し、遠渡隊長自身がパイロットを志すきっかけにもなったという庄内空港の開港30周年に華を添えました。

遠渡隊長からコメントが 届きました!



今回、庄内平野上空を展示飛行するという大変貴重な経験をさせていただきました。
当日は天候が優れず、直前まで展示飛行を実施するかどうか判断が悩まれましたが、結果として皆さまの願いが通じ、準備した演目をすべて披露できたことに感謝しています。
上空からは、北に雪の被り始めた鳥海山、南に紅葉の始まった月山がとても綺麗に見え、真下には冬の風物詩である白鳥の群れを確認できました。また、小中学校のグラウンドには多くの方々の手を振る姿も見え、我々も地上にいる皆さまからたくさん感動をいただきました。今後も皆さまに笑顔をお届けできるよう、チーム一丸となって技量を磨いてまいりますので、自衛隊に対するご理解とご協力をよろしくお願いいたします。